



# 令和5年度 ニセコ町当初予算案の概要

令和5年2月  
総務課財政係

## 1 予算規模

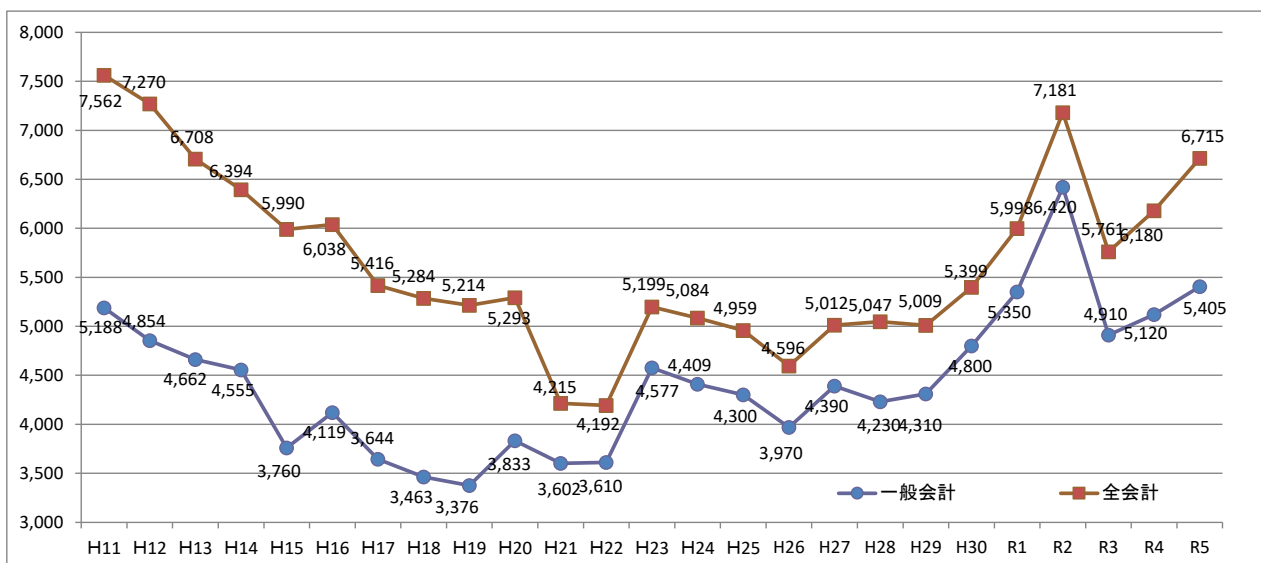
＜当初予算の内訳＞

単位：万円、%

会 計	5年度予算額		4年度予算額		増減比較			
	当初 A	当初 B	現計 C	当初予算比		現計予算比		
				A-B	増減率(%)	A-C	増減率(%)	
一 般 会 計	540,500	512,000	560,542	28,500	5.6	△ 20,042	△ 3.6	
国民健康保険事業特別会計	20,900	21,200	21,209	△ 300	△ 1.4	△ 309	△ 1.5	
後期高齢者医療特別会計	6,270	5,750	5,750	520	9.0	520	9.0	
簡易水道事業特別会計	76,500	54,100	55,776	22,400	41.4	20,724	37.2	
公共下水道事業特別会計	27,340	23,800	24,983	3,540	14.9	2,357	9.4	
農業集落排水事業特別会計		1,160	1,427	△ 1,160	△ 100.0	△ 1,427	△ 100.0	
合 計	671,510	618,010	669,687	53,500	8.7	1,823	0.3	
羊蹄山ろく消防組合ニセコ支署	18,799	17,650	17,448	1,149	6.5	1,351	7.7	

＜当初予算の推移＞

単位：百万円



## 2 当初予算案の概要

令和5年度予算においても「ニセコ町まちづくり基本条例」の精神を基に、まちづくりの指針となる第5次ニセコ町総合計画の基本理念「環境創造都市ニセコ」と3つの将来像のもと、これまで培ってきたまちづくりの基盤を更に充実させ、町民の生活に密着し、持続可能な地域発展に資する諸施策に取り組むこととして予算編成を進めてきました。

予算規模の大きな投資的事業については、①着手継続事業の確実な推進、②将来の持続的発展に向けた整備、③子育て・教育施設の整備、④安心安全を支える社会インフラの整備、⑤住みやすさ・暮らしやすさの環境整備と優先順位付けをし、将来の安定的な持続発展のため、起債計画や財政状況を踏まえながら中長期的視点を持った予算計上を行いました。このほか別枠事業として、築45年が経過する消防庁舎の防災拠点機能を強化するため、再整備に向けた基本・実施設計の策定を進めます。

《上記の優先順位付けによる令和5年度の主な投資的事業》

別枠：消防庁舎再整備

- ①：国営緊急農地再編整備
- ②：水道水源整備
- ③：教育・子育て環境の拡充
- ④：道路改良工事、橋梁長寿命化、道路排水施設改良、河川災害防止対策、水道配水管更新、水道施設更新、下水道管理センター設備更新、指定避難所環境改善 など
- ⑤：倶知安厚生病院第2期整備費用負担、公営住宅長寿命化 など

なお、予算編成過程における職員向けの予算編成説明会、主要事業ヒアリング、予算ヒアリングなどを全て公開で実施してきました。また、予算の議決後は町民向けの予算説明書「もっと知りたいことしの仕事」を全戸配布（ホームページでも公開）することにより、予算内容をお伝えします。まちづくり基本条例のもと、引き続き予算編成過程の公開とわかりやすい情報提供に努めます。

**令和5年度の各会計予算総額は67億1,510万円で、前年度比+5億3,500万円（+8.7%）となりました。**一般会計予算額は54億500万円で、前年度比+2億8,500万円（+5.6%）となりました。主な要因は、公営住宅改善事業や消防庁舎再整備事業に加え、光熱水費や労務単価等の高騰によるものです。

ニセコ町の価値を将来に継承していくため、予算の「質」を高めながら令和5年度は次の事業に取り組み、ニセコ町のまちづくりをより一層充実させます。

【農業生産基盤整備】	
国営緊急農地再編整備	6,751万円 <sup>②</sup>
【農林業振興】	
多面的機能支払交付金	3,964万円 <sup>②</sup>
農業次世代人材投資資金	1,875万円 <sup>②</sup>
林業振興	3,708万円 <sup>①②</sup>
【観光振興】	
GSTC（持続可能な観光）推進	5,159万円 <sup>②</sup>
観光振興（観光協会支援 等）	5,629万円 <sup>②</sup>
【商工業振興】	
商工業振興（商工観光魅力アップ事業補助 等）	3,417万円 <sup>①</sup>
【社会福祉の充実】	
社会福祉事業補助 （社会福祉協議会、グループホーム、居宅介護支援 等）	4,969万円 <sup>②</sup>
【母と子の健康推進】	
妊婦健診・産後ケア・不妊不育治療費助成	1,250万円 <sup>①</sup>
出産子育て応援交付金	450万円 <sup>①</sup>
【子育て支援の充実】	
子ども医療費拡大助成	936万円 <sup>②</sup>
ファミリーサポートセンター運営	855万円 <sup>②</sup>
【地域医療の確保】	
倶知安厚生病院第2期整備費用負担金	8,904万円 <sup>②</sup>
倶知安厚生病院救急医療等体制整備補助	1,601万円 <sup>②</sup>
【地域防災拠点整備】	
消防庁舎再整備（実施設計 等）	4,802万円 <sup>①</sup>
指定避難所環境改善（ニセコ駅前温泉綺羅乃湯、運動公園等）	2,381万円 <sup>①</sup>
【環境対策】	
環境政策・気候変動対策・水資源保全	3,021万円 <sup>②</sup>
環境負荷低減モデル集合住宅整備促進補助	1,800万円 <sup>②</sup>
【SDGs 推進】	
SDGs 推進 （持続可能なまちづくりの推進、地域資源活用に向けた体制構築 等）	2,844万円 <sup>①</sup>
【教育環境の充実】	
学校教育備品等の整備（学校給食調理器具、食器など）	4,520万円 <sup>①</sup>
【地域づくりの人材確保】	
地域おこし協力隊	1億3,893万円 <sup>②</sup>
集落支援員	2,547万円 <sup>②</sup>
国際交流員・外国語指導助手	3,486万円 <sup>②</sup>
【生活基盤の整備】	
デマンドバス運行	2,837万円 <sup>②</sup>
地域公共交通最適化実証運行	1,675万円 <sup>②</sup>
町道等整備改修（林道小花井線法面補修 等）	1億3,299万円 <sup>①②</sup>
橋梁長寿命化（小川橋 等）	2,214万円 <sup>①</sup>
公営住宅改善（中央団地5号棟複合型改善工事）	1億3,508万円 <sup>①</sup>
【水道・下水道施設の整備 ※特別会計】	
水道施設更新 （市街地区・宮田地区配水管更新、水道設備更新 等）	4億5,389万円 <sup>①②</sup>
水道水源整備（市街地区実施設計）	1億2,000万円 <sup>①</sup>
下水道管理センター設備更新	6,400万円 <sup>①</sup>
公営企業会計法適用化移行（下水道会計）	482万円 <sup>②</sup>

## 一般会計予算案の概要

### 【歳入】

- 町税は、まず町民税について、徴収率の向上とコロナ禍からの景気の回復を見込み2億7,050万円（前年度比+7,215万円）、固定資産税は、徴収率の向上とホテル棟の建設による増額を見込み5億4,850万円（前年度比+8,049万円）を計上しています。入湯税は、観光客数の回復から5,500万円（前年度比+3,065万円）を見込み、軽自動車税やたばこ税を含めた町税総額は9億2,216万円（前年度比+1億8,352万円）となりました。
- 地方交付税は、22億7,500万円（前年度比△3,500万円）を計上しています。普通交付税は、令和4年度の追加交付を除く交付実績と地方財政計画に基づく算定により、19億6,500万円（前年度比△1,500万円）を見込みました。特別交付税については、指定避難所の環境改善の事業規模減少を見込み、3億1,000万円（前年度比△2,000万円）を計上しています。
- 町債は、消防庁舎再整備、役場前通歩道再整備、林道法面改修、公営住宅長寿命化、倶知安厚生病院第2期整備費用などの借入金を計上しました。また、臨時財政対策債（普通交付税の国からの交付不足を補う借入金）は、1,500万円（前年度比△3,000万円）を見込んでいます。このほか過疎ソフトなどの借り入れを含め、町債総額は4億590万円（前年度比+3,780万円）を見込んでいます。

### 【歳出】

- 普通建設事業費は、5億1,155万円（前年度比+7,969万円）となりました。主な要因は、公営住宅長寿命化や消防庁舎再整備実施設計策定によるものです。投資的事業については、今後も優先順位付け方針に基づく重点的な予算配分と、中長期的視点を持ちながら計画的に事業を実施していきます。
- 人件費は、11億6,695万円（前年度比△730万円）となりました。主な要因は、一般職員と会計年度任用職員の退職・採用によるものです。
- 公債費は、6億8,716万円（前年度比△1,197万円）となりました。このうち元金6億6,183万円、利子2,533万円です。公債費の増加は将来の財政圧迫の一因となることから、負担が過度に拡大しないよう留意するほか、中長期的に公債費が減少となるよう起債計画を定め、財政状況に応じた調整を図っていきます。
- 補助費等は、9億480万円（前年度比+3,667万円）となりました。主な要因は、GSTC推進事業や各種負担金の増額によるものです。

## 特別会計予算案の概要

特別会計に対する一般会計繰出金は、合計で3億383万円（前年度比+2,306万円）となりました。主な要因は、公共下水道事業特別会計への繰出金1億5,011万円（前年度比+1,958万円）によるものです。今後も施設老朽化による経費の増加が予想されますが、予防保全補修や計画的な更新により将来コストの抑制に努めます。

また、国民健康保険事業会計の任意繰出金（収支不足を補うための補填金）は引き続き計上していません。

**○国民健康保険事業特別会計予算額は、2億900万円で前年度比△300万円（△1.4%）となりました。**主な要因は、後志広域連合負担金の減額によるものです。また、保険料の収支不足に対して国民健康保険基金繰入金598万円（前年度比+355万円）を計上することにより、収支均衡を図ります。

なお、国保の保険料（税）については、2030年を目途に北海道で統一した保険税率となる（予定）ことから、統一保険料となった時の急激な変動に対応するため、町では令和5年度から北海道が示す税率に合わせて積算することとしました。

**○後期高齢者医療特別会計予算額は、6,270万円で前年度比+520万円（+9.0%）となりました。**主な要因は、北海道後期高齢者医療広域連合負担金の増額によるものです。

**○簡易水道事業特別会計予算額は、7億6,500万円で前年度比+2億2,400万円（+41.4%）となりました。**主な要因は、市街地区簡易水道施設整備事業によるものです。このほか老朽化が進む水道施設の維持補修や更新を実施し、安心安全な水道水の供給に努めます。

**○公共下水道事業特別会計予算額は、2億7,340万円で前年度比+3,540万円（+25.3%）となりました。**主な要因は、下水道管理センター設備更新工事の増額と農業集落排水事業の統合によるものです。

### 3 一般会計の款別・性質別予算

<歳入款別>

単位：万円、%

歳 入 ( 款 別 )							
款	区 分	本年度予算 A	前年度予算 B	増 減 額 A-B	増減率	予算構成比	
						本年度	前年度
1	町税	92,216	73,864	18,352	24.8	17.1	14.4
2	地方譲与税	5,720	5,730	△ 10	△ 0.2	1.1	1.1
3	利子割交付金	40	40	0	0.0	0.0	0.0
4	配当割交付金	140	120	20	16.7	0.0	0.0
5	株式等譲渡所得割交付金	120	100	20	20.0	0.0	0.0
6	法人事業税交付金	1,000	900	100	11.1	0.2	0.2
7	地方消費税交付金	11,200	11,600	△ 400	△ 3.4	2.1	2.3
8	ゴルフ場利用税交付金	200	200	0	0.0	0.1	0.0
9	環境性能割交付金	300	320	△ 20	△ 6.3	0.1	0.1
10	地方特例交付金	200	300	△ 100	△ 33.3	0.0	0.1
11	地方交付税	227,500	231,000	△ 3,500	△ 1.5	42.1	45.1
12	交通安全対策特別交付金	70	60	10	16.7	0.0	0.0
13	分担金及び負担金	2,320	2,446	△ 126	△ 5.2	0.4	0.5
14	使用料及び手数料	16,120	15,837	283	1.8	3.0	3.1
15	国庫支出金	37,295	36,772	523	1.4	6.9	7.2
16	道支出金	25,190	24,763	427	1.7	4.7	4.8
17	財産収入	2,855	3,104	△ 249	△ 8.0	0.4	0.5
18	寄附金	3,440	3,640	△ 200	△ 5.5	0.6	0.7
19	繰入金	46,873	40,810	6,063	14.9	8.7	8.0
20	繰越金	5,000	5,000	0	0.0	0.9	1.0
21	諸収入	22,111	18,584	3,527	19.0	4.1	3.6
22	町債	40,590	36,810	3,780	10.3	7.5	7.2
歳 入 合 計		540,500	512,000	28,500	5.6	100.0	100.0

<歳出款別>

単位：万円、%

歳 出 ( 款 別 )							
款	区 分	本年度予算 A	前年度予算 B	増 減 額 A-B	増減率	予算構成比	
						本年度	前年度
1	議会費	4,359	4,341	18	0.4	0.9	0.8
2	総務費	160,887	173,733	△ 12,846	△ 7.4	29.8	33.9
3	民生費	55,410	55,406	4	0.0	10.3	10.8
4	衛生費	52,460	43,006	9,454	22.0	9.7	8.4
5	労働費	213	213	0	0.0	0.0	0.0
6	農林水産業費	25,151	21,951	3,200	14.6	4.7	4.3
7	商工費	18,630	19,111	△ 481	△ 2.5	3.4	3.7
8	土木費	77,154	54,146	23,008	42.5	14.3	10.6
9	消防費	18,465	17,627	838	4.8	3.4	3.4
10	教育費	58,655	52,153	6,502	12.5	10.9	10.1
11	災害復旧費	100	100	0	0.0	0.0	0.0
12	公債費	68,716	69,913	△ 1,197	△ 1.7	12.7	13.7
13	予備費	300	300	0	0.0	0.1	0.1
歳 出 合 計		540,500	512,000	28,500	5.6	100.0	100.0

歳 出 ( 性 質 別 )								
区 分		本年度予算 A	前年度予算 B	増 減 額 A-B	増減率	予算構成比		
						本年度	前年度	
經常的經費	義務的經費	人件費	116,695	117,425	△ 730	△ 0.6	21.6	22.9
		扶助費	24,887	28,272	△ 3,385	△ 12.0	4.6	5.5
		公債費	68,716	69,913	△ 1,197	△ 1.7	12.7	13.7
		小 計	210,298	215,610	△ 5,312	△ 2.5	38.9	42.1
	物件費	旅費	3,060	2,708	352	13.0	0.6	0.5
		交際費	413	413	0	0.0	0.1	0.1
		需用費	26,262	19,967	6,295	31.5	4.9	3.9
		役務費	5,356	4,846	510	10.5	1.0	0.9
		委託料	61,767	49,146	12,621	25.7	11.4	9.6
		備品費	4,355	2,874	1,481	51.5	0.8	0.5
		その他	14,250	15,899	△ 1,649	△ 10.4	2.6	3.1
		小 計	115,463	95,853	19,610	20.5	21.4	18.7
	維持補修費		26,832	24,786	2,046	8.3	5.0	4.8
	補助費等		90,480	86,813	3,667	4.2	16.7	17.0
計		443,073	423,062	20,011	4.7	82.0	82.6	
臨時的經費	普通建設事業費	補助事業費	26,765	15,004	11,761	78.4	5.0	2.9
		単独事業費	24,390	28,182	△ 3,792	△ 13.5	4.5	5.5
		道営事業費	0	0	0	0.0	0.0	0.0
		国直轄負担金	0	0	0	0.0	0.0	0.0
		小 計	51,155	43,186	7,969	18.5	9.5	8.4
	災害復旧事業費		100	100	0	0.0	0.0	0.0
	投資及び出資金		0	0	0	0.0	0.0	0.0
	貸付金		910	810	100	12.3	0.2	0.2
	積立金		3,192	3,349	△ 157	△ 4.7	0.6	0.7
	繰出金		41,770	41,193	577	1.4	7.7	8.0
	予備費		300	300	0	0.0	0.1	0.1
計		97,427	88,938	8,489	9.5	18.0	17.4	
歳 出 合 計		540,500	512,000	28,500	5.6	100.0	100.0	

## 4 主な取組み

### 持続的な経済循環、攻めの経済を維持

#### ①国営緊急農地再編整備 継

基幹作物の安定生産と重点作物の定着による収益性向上を目指し、農地の区画整理や傾斜改良、用排水路の一体的な整備を行います。整備計画は全体で1,490haとなっており、今後も農地集積の権利調整を担う換地計画の作成を進めます。また、夏期施工などによる農業者の所得損失を緩和するため、国の制度を活用した支援を引き続き行います。

なお、国営緊急農地再編整備事業による後年の財政負担については、基金を毎年積み立てており、計画的に平準化を図っています。

#### ②農業多面的機能の促進 継

農業が持つ多面的機能を発揮するため、協定を結んだ地域の共同活動や地域資源向上を図る活動に対し、国50%、道25%、町25%を支援します。

#### ③農業担い手対策 継

農業担い手対策として、就農準備や経営開始時の不安定な経営確立を図るための支援を行います。また、新たな農業経営体を確保するため、経営計画の基準を満たす小規模経営就農者や農業大学の進学者に対する貸付制度を実施します。

#### ④高品質米・酒米生産の推進 継

クリーン農業と高品質米の産地定着のほか、酒米の生産を支援するため、一定のタンパク基準をクリアした米・酒米生産者に対する補助制度を継続します。

#### ⑤肥料価格高騰対策 新

新型コロナウイルス、ウクライナ情勢等による肥料の価格高騰により影響を受けている農業者に対して、町独自の支援を行います。

#### ⑥持続可能な観光の推進 拡

GSTCの推進により、持続可能な観光モデルの構築を目指します。また、国際的な視点に立った観光地として持続し続けるため不可欠な財源として、宿泊税を導入します。

#### ⑦ニセコ観光圏の推進 継

倶知安町、蘭越町と共に広域で取り組むニセコ観光圏について、ニセコエリア全体としての地域ブランド戦略を推進します。引き続き、中核となる人材育成やニセコエリアで観光業務に従事するスタッフのトレーニング、温泉地活用、他団体と連携した海外プロモーションやサイクルプロモーションの展開に取り組みます。



## ⑧域内消費の拡大 継

消費意欲の向上と商業の活性化のほか、子育て世代の町内消費拡大と子育て家庭への生活支援を目的としたキッズカードに対する支援を引き続き行います。

## ⑨商業の振興や賑わいの創出 新・拡

町内において小規模事業所を新設又は継承して新たに起業する方、又は業種の転換や事業所の拡張など積極的な事業展開を目指すために建物の新築や増改築、改装を行う費用の一部を助成する「にぎわいづくり起業家等サポート事業」等の支援を継続します。

また、「ニセコ町中小企業等振興条例」に基づき、移住促進施策と連携した人材確保の仕組みづくりについて、国などの関係機関と連携しながら検討していきます。

## 誰もが健やかに笑顔で暮らせるまちづくり

### ①予防接種の推進と子ども医療費の無料化 新・拡

1歳から就学前までの小児への感染症対策として、法律に基づく定期予防接種のほか、おたふくかぜやインフルエンザなどの任意予防接種を支援します。

また、65歳以上を対象として带状疱疹予防接種に対する支援を新たに実施します。

### ②母と子の健康推進 新・拡

新生児の聴覚異常の早期発見と早期治療につなげる新生児聴覚検査のほか、妊婦健診、不育症治療の助成を行います。また、出産・子育て応援交付金を活用し、妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援を新たに実施します。

### ③子育て支援の充実 拡

ゴールデンウィークと年末年始の休日子ども預かり事業に加え、冬の子どもの遊び場を確保するためキッズパークを実施します。また、子どもの送迎や一時的な預かりを担うファミリーサポートセンター事業を継続して実施します。施設面では、幼児センターや子ども館に防犯カメラを設置し、児童の安全確保に努めます。

このほか保護者の負担軽減として、第3子目以降の学校給食費免除や小学校1年生に対する副教材の支援を行います。また、子ども達が購入するリフト券やシーズン券の助成のほか、小学校1～3年生の保護者に対するリフト券の助成を実施します。

### ④高齢者福祉対策 継

社会福祉協議会による在宅高齢者の介護事業や移送事業の運営経費を支援します。配食事業については、町内業者と連携を図り高齢者の見守りを合わせて実施します。

### ⑤グループホーム運営支援 継

介護スタッフによる食事、入浴等の生活支援や機能訓練により、住み慣れた地域で安心して共同生活ができるよう認知症高齢者グループホームの運営経費を支援します。

## ⑥健康診査の無料化と受診率向上の取り組み **拡**

一定の障がいのある65歳以上及び75歳以上の特定健診については、受診者の負担軽減と受診率向上につなげるため無料とします。

また、国民健康保険事業として、病気の早期発見による重症化の予防や医療費の抑制を図るため、40歳以上の特定健診に要する一部費用の無料化を継続します。さらに、町が実施する各種健診を受診した方に、町で使える「キラポイント」1,000円分を付与し受診率向上を図ります。

## ⑦地域医療の確保 **継**

地域医療や救急医療の確保など、俱知安厚生病院の赤字補填を行うため、病院所在地である俱知安町を中心とした近隣町村と運営経費を支援します。また、俱知安厚生病院第2期整備費用負担金として、令和5年度に実施する増築棟の新築費用を予算計上しています。このほかニセコ医院の医療設備に係る保守費用の支援も引き続き行います。

# 環境に優しいニセコの創造

## ① 持続可能なまちづくりの推進 **新・拡**

近年の人口増加に対応するため、市街地近郊の9haの土地に環境配慮型の街区を整備します。令和5年度は実施主体の㈱ニセコまちによる分譲住宅と集合住宅の建設工事を進め、町では防火水槽及び水道のインフラ整備に取り組みます。

このほか地方創生推進交付金を活用し、共感や多様な連携による持続可能なまちづくりを推進するための事業を継続して実施するとともに、脱炭素アクションプラン計画、環境基本計画等の策定や再生可能エネルギー電気導入基礎調査を実施します。

## ② 林業振興 **新・拡**

森林の公益的機能を重視した森林づくりを目指し、森林組合等と連携しながら民有林の整備や除間伐を支援します。

また、小規模な林業関係組織を立ち上げ、当該組織で働く人材確保、町産材の地域内循環の活用を検討します。

## ③ 環境負荷低減型民間集合住宅の整備促進 **継**

民間集合住宅の環境負荷低減の取り組みや優良なストック形成などを促進するため、断熱性能や遮音性能の高い基準を満たす集合住宅に対し、建設費の一部を助成します。

## ④ 環境と調和した農業の推進 **継**

堆肥センターを中心とする資源循環型のクリーン農業を推進するため、完熟堆肥流通促進補助のほか、コンポスト堆肥を農業者や町民に還元することで、更なる循環型農業の推進や環境意識の醸成につなげます。

## 豊かな心と個性ある文化を育む

### ①教育環境の充実 **拡**

コミュニティスクールの推進と、各学校や幼児センターが連携したニセコスタイルの一貫教育に取り組みます。そのための体制づくりとして、スクールコーディネーターの継続配置を行います。また、個別配慮が必要な児童生徒の学習支援として特別支援員を増員配置するほか、学校生活における児童生徒の心のケアに携わるスクールカウンセラーを引き続き派遣します。

学習面では、1人1台パソコンと連動した授業が行えるよう学びの環境改善を継続して行います。施設面では、小学校に防犯カメラを設置し、生徒の安全確保に努めます。

### ②外国語教育の推進 **継**

幼児期から国際理解と英語教育による国際感覚を醸成するため、外国語講師を継続配置します。また、ニセコ高校における修学旅行では、旅行先をマレーシアとして現地ホテルスクールとの連携によるホテル実習体験などを実施し、国際社会に通用する人材育成に取り組みます。

### ③国際化の推進 **継**

国が行うJETプログラムを活用し、国際交流員（CIR）5名と外国語指導助手（ALT）2名の派遣を受け入れます。外国語刊行物の編集・翻訳や交流活動の企画・立案、各学校での英語・国際教育により文化交流の機会を創出し、地域の国際化を図ります。

### ④スポーツ選手による指導・交流 **継**

北海道日本ハムファイターズとの連携による野球教室やアスリートを招き、本物の選手に触れることで運動技術・知識・意欲の向上を図ります。

## 安全で安心な暮らしを支える

### ① 防災・災害体制の強化 **新**

災害時の防災機能を十分に備えた拠点整備として、築45年が経過する消防庁舎の再整備に着手します。令和5年度は、実施設計を実施します。このほか指定避難所となっているニセコ駅前温泉綺羅乃湯の老朽化に伴う設備等の更新工事を行います。

### ② 消防・救急活動の強化 **拡**

救急救命士の救急活動により、器具気道確保や静脈路確保、薬剤投与の救命措置を行い、蘇生率向上に努めます。令和5年度はニセコミライに防火水槽を新設し、安全性の向上を図ります。

### ③コミュニティFMの推進 **拡**

町民参加による地域密着型の放送局「ラジオニセコ（周波数76.2MHz）」について、ラジオパーソナリティの研修育成を図りながら、行政情報や防災情報、議会放送に加え、地域・観光情報を幅広くお知らせするための運営経費を支援します。

また、災害時の予備アンテナを役場庁舎に設置するため実施設計を策定します。

### ④消費生活対策 **継**

不当な勧誘などの生活相談に対応するため、倶知安町を除く周辺7町村による「ようてい地域消費生活相談窓口」を共同運営します。

### ⑤地域交通の確保 **拡**

デマンドバスの運行経費を支援し、域内交通の安定確保と利便性の向上に取り組みます。また、スクールバスの滞在緩和に向けた取り組みとして、デマンドバスの朝一運行を継続し、郊外に住む子ども達の通学環境の改善を図ります。

このほか自家用車を活用した助け合い交通の実証試験や、ニセコ周遊バスの運行試験を引き続き実施します。

### ⑥道路交通網の改善 **新・継**

ニセコ役場前通歩道整備実施設計や林道小花井線法面改修工事のほか、小川橋の橋梁長寿命化を進めます。このほか道路維持管理計画に基づく予防保全補修について、制度延長された有利な起債を活用しながら適正な維持管理に努めます。

また、除雪機械のオペレーター不足に対応するため、免許取得費への支援を継続して実施します。

### ⑦公営住宅の住環境改善 **新**

中央団地5号棟の長寿命化改善を図るため長寿命化方複合改善工事を実施します。このほか公営住宅の営繕工事や突発修繕に対応し、住環境の改善に努めます。

### ⑧上下水道施設の拡張・更新 **新・拡**

上下水道施設の計画的な更新を進めます。令和5年度は市街地区水源整備事業・市街地区及び宮田地区配水管更新、老朽化に伴う水道設備更新、下水道管理センター設備更新のほか、広域処理を行う蘭越町昆布地区終末処理場の設備更新を行います。

## 未来を見据えた行財政の基盤づくり

### ① 総合計画によるまちづくり 〔拡〕

第5次二セコ町総合計画に掲げる「環境創造都市二セコ」の基本理念のもと、自治創生総合戦略、SDGs 未来都市計画、環境モデル都市第2次アクションプラン、強靱化地域計画など重要な計画に基づくまちづくりを推進します。また、令和4年度に実施した町民アンケートの実施や現行計画の検証を基に第6次総合計画策定します。

### ② 戦略的な行財政改革 〔拡〕

国の地方財政計画や町計画に基づき、戦略的な行財政改革に努めます。今後は限られた財源の中で公共投資の最適化を図ることが不可欠であり、最も効率的で効果的な方法を検証しながら透明性の高い行財政運営を行います。

また、過疎地域からの卒業を見据えた財源確保を強化すべく宿泊税の導入を進めます。ふるさとづくり寄付については、地域産品の一層の充実強化を図り、寄付者の思いが地域へとつながり、魅力あるまちづくりが展開できるよう今後も節度ある運用を目指します。企業版ふるさと納税についても、新たな財源確保として二セコ町のまちづくりに共感していただける企業との多様な連携の構築に努めます。

### ③ 地域づくりの人材確保 〔継〕

地域おこし協力隊や集落支援員の制度を活用し、地域の課題解決と定住人口の増加を目指します。地域づくりの担い手には、自らの主体性を生かし、地域との創造的摩擦を乗り越えながら地域力向上へとつながるよう町としてもサポートしていきます。なお、地域おこし協力隊及び集落支援員に要する経費については、財源措置として特別交付税が交付されます。

### ④ 町税等収納対策の強化 〔継〕

コンビニエンスストアやスマホアプリを利用した納税、ネット銀行の口座振替の推進など、多様な納税環境の充実に努めます。

また、滞納者に対して早期からきめ細やかな催告を行うとともに、税を納付できる力を早期に見極め、経済力があっても納税に応じない滞納者には、年度内から差し押さえなどの滞納処分を執行し、今後の自主的な早期完納を促します。

### ⑤ 戸籍住民票事務の強化 〔継〕

町民の生活とまちづくりの基本となる戸籍や住所、印鑑の登録に関する届出とその証明、個人番号カード（マイナンバーカード）に係る事務について、関係法令に基づき適正な処理と個人情報保護に努めます。このほか転入時の手続きを簡素化する異動受付支援システムの運用により、来庁者の利便性向上と待ち時間の短縮を図ります。

## 5 財源の調整

行財政の課題解決として、各部署での歳出予算額が提示され、歳入予算額と比較して11億円を上回る予算乖離となりましたが、投資的事業の優先順位付けや経常的経費の抑制による見直し、補助金・有利な起債等の財源確保を行い、予算乖離は3億7,960万円（前年度比+1,960万円）まで圧縮しました。

この収支不足額については、新規事業や重点事業の実施、計画的な設備更新のほか、各種計画の見直し、子育て支援の充実など、将来を見据えた社会的投資となっており、財政調整基金2億2,000万円（前年度比+3,000万円）、公共施設整備等基金1億2,200万円（前年度比△1,800万円）、地域福祉基金3,760万円（前年度比+760万円）の繰り入れをもって、収支均衡を図ります。

予算の執行においては、更なる財源確保と経費節減・効率的執行に努め、決算での基金繰入額の圧縮を図ります。

また、町債発行にあたっては、今後の財政状況や投資的事業の見通しを基に起債計画を更新し、町債残高（借入金残高）及び公債費（借入金返済額）の計画的な管理を行うこととしています。

### 【 この資料のお問合せ 】

ニセコ町総務課財政係

担 当： 係長 浅井 理登

業務時間： 8:30 から 17:15 まで

電 話： 0136-44-2121

メー ル： zaisei@town.niseko.lg.jp

